

施策3 つながり・見守りの仕組みの充実

(1) 施策指標の状況

●こどもサポートネットにより総合的な支援に役立ったとする学校の割合

なし（H30年度より事業実施） → 92%

※H30「こどもサポートネット参画学校へのアンケート調査」結果より

➤ 平成30年度より事業実施し、高い割合で肯定的な結果となっている。

●こどもの居場所数

・こどもの居場所数（こども食堂含む）

未把握 → 146箇所

※H30「区役所・区社調べ」より

・こども食堂数

81箇所 → 111箇所

※H29及びH30「区役所・区社調べ」より

➤ こども食堂等のこどもの居場所数は増加傾向である。

●地域の大人（学校や塾・習い事の先生を除く）に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがあると答える児童・生徒の割合

小学生 36.2% → 35.2%

中学生 19.4% → 21.4%

※H29.4及びH30.4実施「全国学力・学習状況調査」結果より

➤ 中学生より小学生のほうが、地域の大人との関わりがある。前回に比べると、中学生の割合が増加している。

・「子育てが地域の人に（もしくは社会で）支えられている」と感じる保護者の割合（就学前）

67.4%（H25） → 65.6%（H30）

※H25及びH30「大阪市こども・子育て支援計画」はぐみ指標より

➤ 前回に比べて、割合が減少している。

(2) 重点事業実施状況

No.25 子ども会活動の推進

異年齢の集団の中での活動を通じて、大人として必要な知識、技能、態度を学ぶとともに、健全な仲間づくりを進め、こどもの成長をめざす、子ども会活動を推進する。

事業目標指標	現状値	目標値	実績値	結果
ジュニアリーダー・シニアリーダー研修事業において、「役にたった」と回答した割合	99% (H29)	70%以上	96% (H30)	達成

No.26 青少年指導員・青少年福祉委員制度の推進

青少年指導員、青少年福祉委員を委嘱し、青少年指導員による青少年問題に関する啓発や青少年の指導及び相談など、青少年福祉委員による青少年指導員活動の支援など、地域における青少年の健全育成に向けた様々な活動を制度として推進する。（地域での具体的な活動は、各区において地域の実情に応じて実施する。）

事業目標指標	現状値	目標値	実績値	結果
研修を受講することで青少年健全育成活動に役立つと感じるとする指導者数の割合	90.2% (H29)	80%以上	87.4% (H30)	達成

No.27 「小学校区教育協議会－はぐくみネット－」事業

地域の教育資源を学校教育に導入するなど地域に開かれた学校づくりを進め、子どもたちの生きる力を育むとともに、学校、家庭、地域が一体となって総合的な教育力を発揮し、地域における人と人とのつながりによって子どもを育む「教育コミュニティ」づくりを推進する。

事業目標指標	現状値	目標値	実績値	結果
一定期間生涯学習活動に取り組んだ市民の割合	34.7% (H27)	45%以上 (R2 年度 目標)	45.9% (H30)	達成

No.28 学校元気アップ地域本部事業

市内すべての中学校区に、様々な地域人材や社会資源を生かして、学校・家庭・地域の組織的な連携のもと、「学校元気アップ地域本部」を設置し、生徒の生活習慣の確立や学力向上など学校課題の解消に向け、放課後等の自主学習支援や学校図書館の活性化など学校教育の支援活動を進めます。

事業目標指標	現状値	目標値	実績値	結果
学校元気アップ地域本部事業に関する管理職対象のアンケートで「学校元気アップ地域本部事業の実施により、子どもたちの生活習慣の改善や学力の向上などに効果がよくみられる」と答える割合	22.8% (H29)	30%以上	30% (H30)	達成

No.29 高校中退者への支援策

若者自立支援事業（コネクションズおおさか）と学校が連携し、既存の取組みを活用して、市立高等学校6校で出前セミナーを実施するとともに、市立高等学校全校を対象に、学校が若者自立支援事業による支援が必要と判断した生徒の個別支援を行うなど、支援の隙間に陥る可能性のある中途退学希望者や中途退学者への支援を充実する。

事業目標指標	現状値	目標値	実績値	結果
市立高校6校への学校連携出張講座（出前セミナー）を受けた生徒のうち、「コネクションズおおさか」を知り、相談してもいいと思った生徒の割合	-	80%以上	60% (H30)	未達成

No.30 児童虐待防止啓発事業

子育て家庭をはじめ、地域住民や子どもに関わる関係機関など、広く市民に対して、児童虐待防止に向けた啓発活動を行う。特に 11 月は、児童虐待防止推進月間として、大阪府、堺市と連携した街頭キャンペーン、啓発グッズの配布、プロスポーツチーム等との連携、児童虐待防止研究集会などを実施する。

事業目標指標	現状値	目標値	実績値	結果
児童虐待ホットラインをはじめ「いずれの相談・通告先も知らない」割合	22.30% (H29)	20%未満	16% (H30)	達成

No.31 こどもを守る地域ネットワーク機能強化

児童虐待防止に向け、要保護児童対策地域協議会を核として、地域のネットワークの一層の活性化を図るとともに、関係機関が連携し、虐待防止・早期発見・早期対応をはじめとする保護や支援が必要な子どもに関する対策を円滑に実施する。

事業目標指標	現状値	目標値	実績値	結果
区要对協において、実務者会議を年間 12 回以上開催し、支援内容の検討を行い支援に繋げることができる区の割合	100% (H29)	100%	96% (H30)	未達成

No.32 大阪市子どもサポートネットの構築

支援の必要な子どもや子育て世帯については、複合的な課題を抱えていることが多く、教育、保健、福祉分野の総合的な支援が必要だが、各種施策が十分に届いていないといった課題があることから、支援の必要な子どもや世帯を学校園において発見し、区役所等の適切な支援につなぐ仕組みを構築し、区長のマネジメントにより、子どもと子育て世帯を総合的に支援するネットワークを強化する。

事業目標指標	現状値	目標値	実績値	結果
大阪市子どもサポートネットにおけるコーディネーター・スクールソーシャルワーカーの配置により、スクリーニング会議が効果的に開催され、そのアセスメントの結果、教育分野及び福祉等分野の支援による総合的な支援による総合的な支援に役立ったとする学校の割合(アンケートで「役立った」と回答する学校の割合)	-	80%以上	92% (H30)	達成

No.33 こども支援ネットワーク事業

地域における子どもの貧困などの課題解決のための取組みの活性化と、地域で子どもを育む機運の醸成を図るため、地域で子どもの貧困などの課題解決に取り組む団体や、企業、社会福祉施設等が参加するネットワークを構築する。

事業目標指標	現状値	目標値	実績値	結果
ネットワークへ参加する活動団体の数	-	68 団体 以上	88 団体 (H30)	達成

(3) 目標達成割合

77.8% (7事業/9事業)

(4) 今後の施策展開

・学校、家庭、地域が一体となって総合的な教育力を発揮し、地域における人と人とのつながりによって子どもを育む「教育コミュニティ」づくりを推進し、支援の隙間に陥る可能性のある中途退学希望者や中途退学者への支援を充実するなど、引き続き、子どもや青少年、保護者のつながりを支援していく。

・子育てが地域の人や社会で支えられていると感じる保護者の割合が減少しているが、子育て家庭をはじめ、地域住民や子どもに関わる関係機関などに対して、児童虐待防止に向けた啓発活動を行い、地域のネットワークの一層の活性化を図など、引き続き、児童虐待の発生を予防し、早期に発見・対応できる体制をつくる。

・大阪市子どもサポートネット事業において、総合的な支援に役立つとする学校の割合が9割を超え、また、子ども支援ネットワークへ参加する活動団体も増加するなど、引き続き、社会全体で子どもや青少年、保護者を支援する取組みを推進していく。